



# あおみ

あいつは 大きな声で自分から  
おもしろい やさしい言葉と行動で  
みつげよう 教え合おうよ いいところ

令和5年度 令和5年6月8日 第3号

文責：校長 小畑 一二美

## 祝大成功！ 創立150周年記念 元気祭り2023

5月13日土曜日、絶好の運動会日和となりました。3年ぶりに制限のない元気祭りで、声の限りを尽くした迫力ある応援合戦は、見応え聞き応えのある、圧巻のパフォーマンスとなりました。全校で徒競走、団体種目、全員リレーの3種目に出場し、勝っても負けても爽やかな姿が心に残りました。

今年の元気祭りのスローガンは運営委員会で相談して

「おめでとう加茂小学校150 未来へつなぐ あおみの心」

としました。このスローガンは、そのまま創立150周年を迎える今年のスローガンになります。創立150周年の節目として、PTAの皆様が「バルーンセレモニー」を企画してくださいました。生まれて初めて体験する子どもたちがほとんどで、よい思い出として心に残ることでしょう。大勢のご来賓と保護者、地域の方々からの声援を受け、晴れの本番で思い切り活躍できた、素晴らしい元気祭りでした。保護者の皆様から準備や後片付けのお手伝いしていただきましたことに、改めて感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



## 6月は「いじめ見逃しゼロ強調月間」



6月と9月にいじめ事案が増加傾向を示すことから、特に注意して子どもたちの様子を見守る必要があります。そこで、全県的に6月と9月を「いじめ見逃しゼロ強調月間」として取組を強化します。

「いじめをしない！決して見逃さない！決して許さない！」「見て見ぬふりをしない！みんなで声を掛け合う！」を全県の合い言葉にして、いじめ防止に全力で取り組みます。

また、ネット上で誹謗中傷をきっかけとしていじめが発覚する事案が増加しています。「本人が目に見なければよい」とは言えません。本人が見た場合に心をいためるような書き込みなどをした場合には、「いじめの類似行為」となります。学校で把握した場合には、「いじめ」と同様に扱い、深刻で重大な問題として、保護者と連携しながら加害児童に強く反省を促し、いじめた相手に謝罪を行って完全解決を目指します。「いじめ類似行為」の見逃しゼロには、家でのネット環境を監督する、保護者の協力が欠かせません。普段からいじめについてお子さんと話し合い、何らかの情報をキャッチした際には、すぐに学校へご連絡ください。よろしくをお願いします。

## 仲間と協力して成長を遂げた「5年自然教室」

6月1日（木）、2日（金）の2日間5年生が、「県立胎内少年自然の家」での自然教室に出かけてきました。大自然の中で、野外炊さん、オリエンテーリング、キャンプファイヤー、カヌー体験に臨みました。家族から離れて集団生活、宿泊する貴重な体験を積むことができました。

特に、2日目のカヌー体験は、思い出に残る体験になりました。朝からあいにくの雨模様で天気が心配されましたが、気温や風、波のコンディションが良好で、問題なく実施することができました。胎内川の河口付近で行われ、ほとんどの児童が初めての体験でした。最初はおっかなびっくりでしたが、しだいに身のこなしやパドル操作に慣れていきました。今回は一人乗りカヌーで、水面に浮かんでしまえば自力で進むしかありませんでした。インストラクターのアドバイスを受けながら、徐々にコツをつかみ、やがて自力で上手に進めるようになってきました。あきらめないこと、人任せにしないこと、自分の頭で考えることの大切さを学んだ充実したカヌー体験となりました。

1泊2日の集団宿泊活動では、学校とは別の場所・時間・活動で、普段見ることのできない素敵な姿をたくさん見付けることができ、うれしくなりました。5年生の今後の活躍が、益々楽しみです。



## 加茂市温水プールで水泳授業

本年度、浄化設備の不具合が判明して学校のプールが使えないことがわかりました。そこで、急遽、加茂市の温水プールを利用することになりました。

どの学年も1回に2時間ずつ行い、2回で4時間のプール授業となりました。屋外とは違い、プールの水が冷たくなくて、風が吹いて体温が奪われる心配もありません。例年低学年にはブルブル震えてプールに入れない児童も出ていましたが、今年はその心配がありませんでした。効率よく練習でき、どの児童もメキメキ上達していました。毎回大勢のあおみ応援団の皆様からご協力をお願いすることができました。ありがとうございました。



## 中庭の人工芝は地球にやさしい 人工芝クールターフ！

低学年教室から出入りできる中庭は、一昨年令和3年に人工芝が敷設されました。この人工芝は、「クールターフ」という人と環境にやさしい特別な人工芝です。通常の人工芝とちがって、籾殻などの天然素材が100パーセント充填されていて、クッション性と冷却効果に優れています。地元の小柳建設様が、敷設の効果を調べる実証実験と社会貢献を兼ねて無償で敷設してくださったものです。クールターフが敷設される前は、剥き出しの地面になっていて、雨がふればぬかるみ、夏場は暑くなって出られない状況でした。しかし、今では子どもたちが楽しく活動できる場所になりました。裸足でも内ばきでも安心して出ることができます。

人と環境に優しいクールターフが、県内で初導入されたということで、Tenyテレビ新潟の取材を受けました。5月19日（金）に保護者メールでもお知らせした通り、撮影が5月25日（木）に行われました。同30日（火）の「夕方ワイド新潟一番」で、取材を受けたり元気に遊んだりする子どもたちの様子が放映されました。

